



2021 ESG REPORT
**テクノロジーと
事業運営**

CEO メッセージ

このたび、ピュア・ストレージ初となる ESG レポートを発行できることを大変うれしく思います。ピュア・ストレージでの就業経験がある方、あるいは、当社と協業された経験をお持ちの方は、このレポートに記載している指標やコミットメントをよくご存知かもしれません。これらは当社の事業の運営方針であり、日々実践している価値基準そのものです。このレポートは、ESG に関わる私たちの取り組みの成果や結果、さらなるコミットメントを、お客様、パートナー、社員を含むあらゆる方々に理解していただくために編纂されました。

テクノロジー、事業運営、人財に関するマテリアリティ（重要課題）の評価を通じて、ひとつの結論が明らかになりました。ピュア・ストレージは、サステナビリティ（持続可能性）活動を通じて、世界中のデータセンターにおける炭素排出量削減に大きく貢献しています。ピュア・ストレージの製品は、従来型のソリューションあるいは競合のシステムと比較して、消費電力、設置スペースおよび冷却能力の要件が大幅に低減されています。さらに廃棄物も少ないため、お客様の環境フットプリントの縮小に役立っています。

データの利用を通じてより良い世界を作るイノベーターを支援する。これがピュア・ストレージの掲げるビジョンです。ビジョン達成のための長期的戦略として、シンプルかつ、常に最新状態を保つデータ・プラットフォームを提供しています。そのデータ・プラットフォームは、誰もがデータを知力と競争力に変えられるよう支援するものです。このレポートで開示する情報を通じて、ピュア・ストレージのお客様が、お客様自身の組織の炭素排出量を低減させると同時に、デジタル変革を推進できること、そのためのお手伝いができることをうれしく思います。気候変動と戦い、大気汚染を低減し、より公平な世界を実現し、さらに、データの有効活用を通じてあらゆる規模の組織が能力を十分に発揮できるよう支援する。このようなグローバルな取り組みをピュア・ストレージは誇りをもって推進してまいります。

しかし、ピュア・ストレージは、現状に甘んじることはありません。より大きな貢献を目指して改善を継続します。私たちは、ESG に関わる重要な活動のそれぞれを着実に遂行し、環境への負担を最小限に抑えつつ最大限の価値を創造することで、競争優位性を維持できると確信しています。そして、シグネチャであるオレンジと同様に、真のグリーンをも私たちのレガシーとして残していきたいと考えています。

今後も引き続き、全てのステークホルダーとの連携を通じて、あらゆる活動における向上を目指して尽力する所存です。

感謝をこめて



会長兼 CEO チャールズ・ジャンカルロ
(Charles Giancarlo)

ピュア・ストレージのコミットメントの成果を本レポートから抜粋してご紹介します。

テクノロジー

競合のオールフラッシュ・システムと比較して直接的な炭素排出量を最大 80% 削減

ピュア・ストレージのフラッシュ専用ソフトウェア、独自の DirectFlash® テクノロジー、Evergreen™ および Pure as-a-Service™ のサブスクリプション・モデルの継続的な改善が、より信頼性の高い、長寿命で低消費電力の製品の提供を可能にし、お客様における経済・環境両面の持続可能性の向上に貢献します。また、ピュア・ストレージは、2030 年度までにベタバイトあたりの直接的な炭素排出量を 3 倍削減することを宣言しています。

事業運営

ピュア・ストレージでは、自社の炭素排出量削減において、次の目標を掲げています。

市場ベースのスコープ 1 および 2 の温室効果ガス排出量について、2020 年度から 2030 年度にかけて従業員 1 人あたりの原単位を 50% 削減

スコープ 1 および 2 の市場ベースの排出量について、2040 年度までにネットゼロに削減

人財

ヒューマン・ライツ・キャンペーン財団により、社員に平等な企業として評価され、2022 Best Places to Work Corporate Equality の企業平等指数 100 点満点中 95 点を獲得

ピュア・ストレージは、ダイバーシティとインクルージョンを大切にする企業です。経営陣および管理職は、「インクルーシブ・リーダーシップ」の指標によって取り組みの進捗を把握し、ベストプラクティスを策定します。



ピュア・ストレージについて

ピュア・ストレージは、**データ・ストレージとデータ管理のグローバル・リーダー**として、データ活用をシンプルにしてストレージ・エクスペリエンスを再定義するというミッションのもと、お客様、パートナー、従業員にプラスの価値を提供できるよう、真摯に日々の事業活動に取り組んでいます。ピュア・ストレージの製品およびサービスは、お客様の組織において、デジタル変革に不可欠なインフラ、オペレーション、アプリケーションのモダナイズを可能にしています。

世界 93 の国や地域の 4 千名を超えるピュア・ストレージの社員は、カスタマーファースト、粘り強さ、創造性、チームワーク、オーナーシップを大切にすることをコアバリューとして、日々の業務に取り組んでいます。

ピュア・ストレージの事業内容および事業構造について詳しくは、**[年次報告書（2021年度版）](#)**をご覧ください。

5 つのコアバリュー

カスタマーファースト



粘り強さ



創造性



チームワーク



オーナーシップ



ピュア・ストレージ概況



2022 年度収益

21.8 億ドル

対前年成長率 29%



顧客総数

10,000+

全世界の顧客数¹



顧客満足度

85.2

NPS 顧客満足度が
B2B 企業の上位 1%



業界リーダー

8 年連続リーダー

ガートナー・マジック・クアドラント



フォーチュン 500 のお客様

>52%

フォーチュン 500 企業



2022 年度 Q4 の
サブスクリプションによる ARR²

8.49 億ドル

対前年成長率 31%

1: 2022 年度第 4 四半期末日時点での顧客層数を示しています。

2: 2022 年度終了時のサブスクリプションによる ARR (年間経常収益) を示しており、この ARR はピュア・ストレージの
主要な経営指標の 1 つとなっています。Evergreen をはじめとするサブスクリプション契約の四半期末日時点の年換
算契約金額に、当四半期のオンデマンド収入を 4 倍したものを加えた合計金額です。



目次

ピュア・ストレージは、「テクノロジー」、「事業運営」、「人財」を柱として、環境、社会、ガバナンス（ESG）の実践と影響力の向上に取り組んでいます。

テクノロジー	6
持続可能な製品とサービス	7
データ保護とセキュリティ	13
レジリエントなサプライチェーン	15
事業運営	17
事業への信頼	18
ピュア・ストレージの内部通報精度	22
環境負荷	23
本レポートについて	27



A photograph of two people, a woman and a man, standing in a server room. They are both wearing lanyards and looking at each other. The room is filled with server racks, and there are red and blue lights visible. The background is dark, and the floor is reflective.

OUR TECHNOLOGY

テクノロジー

2021 ESG REPORT

持続可能な製品とサービス

地球温暖化や気候変動による最悪の影響を回避するためには、持続可能な技術インフラの構築が不可欠です。ピュア・ストレージは、お客様がご自身の環境フットプリントを劇的に削減できるような製品の設計・製造、サービスの提供により、業界のリーダーとして持続可能性に貢献しています。

IT 担当者はこれまで、爆発的に進展するデータやデジタル・トランスフォーメーションに対応するために、環境負荷の低減よりも、データ・ストレージ容量の拡大とコスト抑制に重点を置いてきました。従来のデータ・ストレージ企業は、旧来の磁気ディスク技術をベースにしたストレージ・システムを提供することで、ストレージ容量増大のニーズに対応してきましたが、電力消費が非効率的で、大量の電子廃棄物が発生するといった課題がありました。対照的に、ピュア・ストレージは、このような従来のプラットフォーム固有の課題にとらわれることなく、設計段階からあらゆる部分で高効率を実現することに重点を置いてきました。

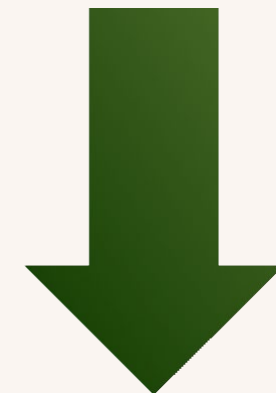


80%

直接的な炭素排出量の削減

炭素排出量

ピュア・ストレージは、企業や組織のデータ・ストレージ・システムにおいて、競合他社のオールフラッシュ・システムと比較して最大で 80%、磁気ディスクとの比較ではさらに多くの直接的な炭素排出量の削減を可能にします。

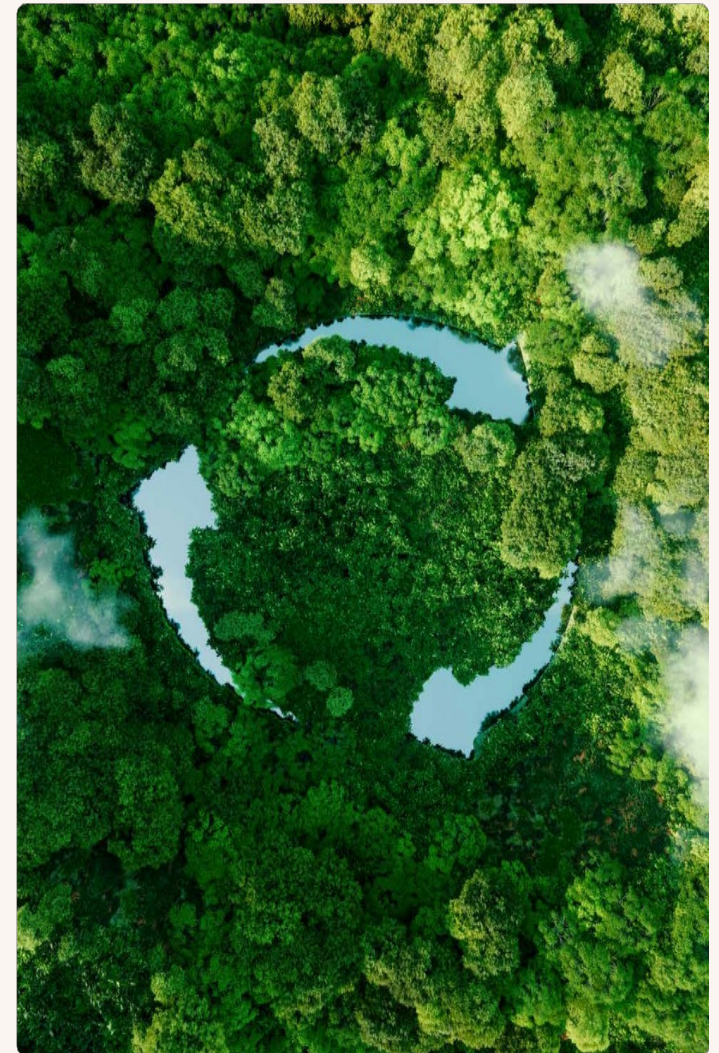


お客様に利益をもたらす

ピュア・ストレージは、独自のテクノロジー、設計思想、お客様に最良の成果を提供するための妥協のない取り組みによって生み出された製品・サービスを通じて環境に貢献します。ピュア・ストレージのコアテクノロジーは、ソフトウェアとハードウェアのアーキテクチャの統合によって、比類のない高密度、長寿命、高効率を提供するだけでなく、継続的な改善を通じて今後も一層の効率化を実現します。ソフトウェアとハードウェアの緊密な統合が、これらのメリットを可能にしています。

ピュア・ストレージは、独自に開発した主要テクノロジーと設計により、ストレージおよびデータの管理において最も持続可能性の高い製品・サービスを提供します。

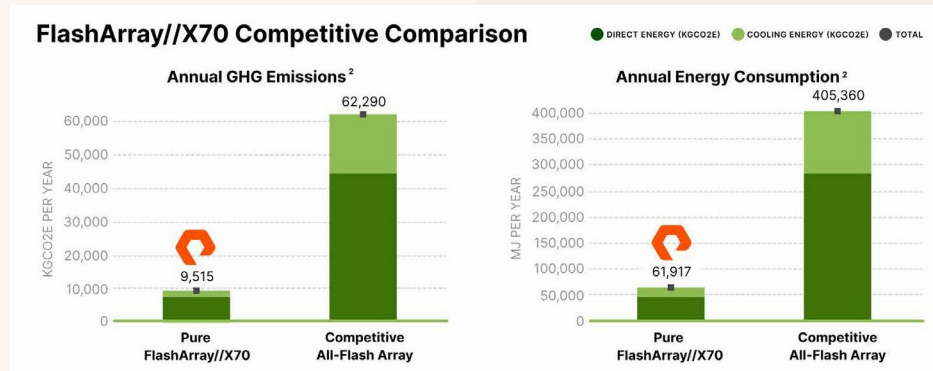
- **DirectFlash® テクノロジー** : フラッシュによる比類のない密度と効率性を提供し、SSD で可能なレベルを超える大幅なエネルギー削減を可能にします。
- **フラッシュ向けに構築されたソフトウェア** : DirectFlash テクノロジーとの組み合わせにより、より信頼性の高い製品の提供、長寿命、業界平均の 3 倍の SSD の信頼性を実現し、電子廃棄物を大幅に削減します。
- **常時オンのデータ削減** : ストレージの効率性を高め、性能を損なうことなくエネルギー使用量を削減します。競合他社のストレージによくあるデータ削減率と性能のトレードオフがないため、ストレージの高い効率性と環境負荷低減のメリットを最大限に享受できます。
- **高性能とシンプルさ** : お客様の IT 環境の統合を可能にして全体的なフットプリントを削減し、使用率を高めて再利用を促進させます。
- **Evergreen™ アーキテクチャ** : 旧来のシステムとは異なり、製品が陳腐化することはなく、老朽化更改を不要にします。ピュア・ストレージのアレイは無停止アップグレードが可能なため、お客様は最新のハードウェアおよびソフトウェア・テクノロジーのメリットを継続的に享受できます。不要になった製品の乗り換えが減り、電子廃棄物も削減できます。



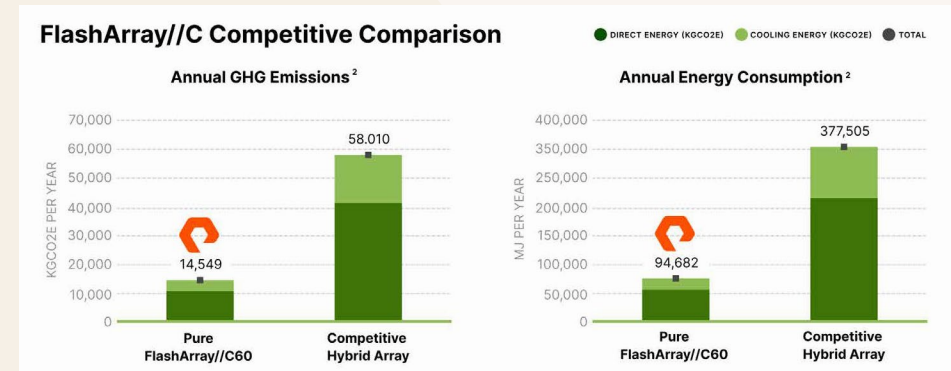
製品ライフサイクルの分析

2021 年、ピュア・ストレージは、自社の FlashArray™ 製品を対象に製品ライフサイクル評価 (LCA) ¹を実施しました。LCA の一環として、FlashArray//X70 と競合他社のオールフラッシュ・アレイとの比較評価を外部の環境コンサルティング会社に依頼し、その後、同じ手法を使用して、

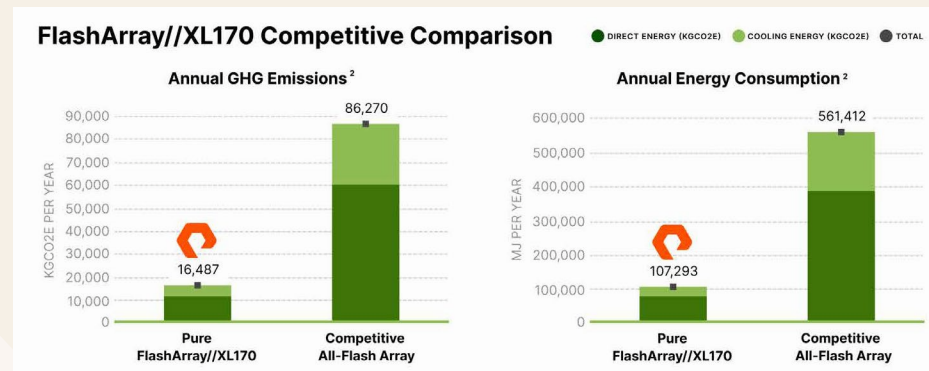
FlashArray//C と FlashArray//XL を含む FlashArray 製品全体の評価を社内で行いました。2022 年には、分析対象を FlashBlade にも広げ、以後、他の製品でも実施する予定です。



FlashArray//X70 : 競合他社のオールフラッシュ・アレイと比較して
GHG 排出量とエネルギー消費量を 84% 以上削減



FlashArray//C60 : 競合他社のハイブリッド・アレイと比較して
GHG 排出量とエネルギー消費量を 75% 削減



FlashArray//XL170: 競合他社のオールフラッシュ・アレイと比較して
GHG 排出量とエネルギー消費量を 80% 以上削減

¹ 生産、輸送、製品廃棄による GHG 排出量については、今後の分析により明らかにされます。本 LCA は現在、第三者機関によって審査中です。

² 公称電力での運用



CO₂ 年間排出量 ピュア・ストレージ vs. 競合他社

競合他社のオールフラッシュ・アレイ
62,290 kg

FlashArray//X70
9,515 kg

その差は年間 52,775 kg
ピュア・ストレージはより多くの CO₂ を削減

スコープ 3 対応の一環として、ピュア・ストレージは、販売した製品についてペタバイトあたり 66% の排出量削減に取り組んでいます。

1 米国環境保護庁の計算式に基づく

2 上記の排出量を相殺する数値に換算

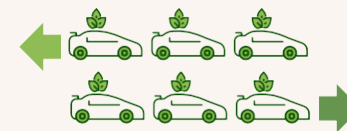
1 アレイあたりの CO₂ 削減量を換算すると ...¹



走行距離

213,453

一般的な乗用車の平均
(キロメートル)



ガソリン消費量

22,466

一般的な乗用車の平均
(リットル)



緑化

873

873 本の樹木を 10 年間育成²



ピュア・ストレージ
FlashArray//X

84.7%

CO₂ の年間排出量を 84.7% 削減

ピュア・ストレージのお客様の大半は複数のアレイを使用しているため、上記を大幅に超える削減効果が得られます。



Evergreen™ Storage のメリット

ピュア・ストレージの Evergreen Storage アーキテクチャは、排出量の大幅な削減に加え、**テクノロジーの継続的な改善を可能にします。アップグレードや拡張のニーズに応じて新しいソフトウェアやハードウェアのコンポーネントをシームレスに提供し、持続可能性をさらに向上させます。**このサービスは、Evergreenサブスクリプションで利用できます。Evergreen は、モジュール型でアップグレード可能なアーキテクチャを活用することで、クラウド運用モデルの多くのメリットをオンプレミス・ストレージにもたらしめます。

Evergreen は、お客様に 2 つの重要な環境面でのメリットをもたらします。

- 1. 無駄なエネルギーの削減：** Evergreen は無停止でのインプレースのアップグレードが可能です。従来の移行作業には数か月から数年を要し、その間にも新旧両方のアレイを稼働させるためのエネルギーを消費します。Evergreen はそれらを不要にします。
- 2. 電子廃棄物の削減：** アレイ・コンポーネントの継続的なアップグレードにより、ストレージのアップグレードの際に既存のシステム全体を置き換えて古い機器を廃棄するという、従来の方法からの脱却も可能になります。長寿命の DirectFlash モジュールと、継続的なアップグレードを提供する Evergreen サブスクリプションを組み合わせることで、電子廃棄物を大幅に削減できます。



Evergreen Storage 革新的技術をサブスクリプションで

究極の「アズ・ア・サービス」モデル

97%

6 年前に導入されたアレイの
97% が現在も稼働中¹

ビジネスの最適化

- 継続的なイノベーション
- 無停止アップグレード (NDU)
- 「Flat & Fair」による定額保守
- 炭素排出量の削減
- アレイとワークロードの最適化
- プロアクティブな予測型サポート

1 社内データに基づく



Pure as-a-Service™

Pure as-a-Serviceは、Evergreen のアーキテクチャとサブスクリプションを拡張することで、より柔軟で、最適化された、効率的な方法でストレージをお客様に提供し、容量や性能の SLA（サービス・レベル契約）を満たします。

Evergreen サブスクリプション・モデルのメリットに加え、Pure as-a- Service では次のような効率化が可能です。

- 稼働していない機器のエネルギーその他の無駄の削減：** ニーズに応じて柔軟にストレージ容量を増減させ、必要な機器を適切にサイジングして SLA を満たすことで、ストレージの無駄を低減させます。Pure as-a- Service は、お客様が必要とするリソースのみを提供し、消費量の増大に応じた拡張を可能にします。
- 再利用、モダナイズ、再配置による機器寿命の延長：** 過去に使用された機器をモダナイズして再利用することが可能な場合には、各機器の物理的な面での有効寿命を延ばし、廃棄物を大幅に削減できます。



12.7_t

ストレージを既存のラック（少数の大容量メディア）に統合したり、新しいコントローラを同じ物理シャーシ内で交換したりすることで、年間平均で約 12.7 トンの電子廃棄物の削減が可能です。

+50%

Pure as-a-Service アレイでは、従来の購入モデルと比較して、サービス開始後 1 年間のコントローラ・リソースの消費率が約 50% 向上しています。





データ保護とセキュリティ

ピュア・ストレージがお客様やステークホルダーとの信頼関係を維持するためには、データを安全に処理・管理できる能力が欠かせません。そのため私たちは、データの損失、破損、セキュリティ上の脅威からデータを保護する製品を開発しています。

ピュア・ストレージの製品・サービスは、高い信頼性を提供し、保存データをプロアクティブに保護します。また、お客様が攻撃を受けた場合にも迅速な復旧を可能にします。

ピュア・ストレージ製品に組み込まれているモダン・データ保護機能とソリューション・ポートフォリオは、バックアップとリカバリにおける重要な課題を解決し、複雑さを排除しつつデータをセキュアに保ちます。

- アクティブ／アクティブなクラスタリングで、最大限の性能と常時オンのデータ・アクセスに対応
- 常に有効なデータ暗号化
- 高信頼性・高速データ転送を可能にするテクノロジーが、障害やランサムウェア攻撃からデータを迅速に復旧
- ランサムウェア攻撃からデータを確実に保護する不変スナップショット
- データ・ストレージの問題を未然に防ぐ予測型分析

信頼関係の構築

ピュア・ストレージでは、最高デジタル・トランスフォーメーション責任者（CDTO）、最高情報セキュリティ責任者（CISO）、ネットワーキング&セキュリティ・エンジニアリング部門 VP が、データ・セキュリティとプライバシーの責任を担っています。CEO との定期的な会議を通じてデータ・セキュリティ・プログラムや新たなトレンドへの対応に取り組んでいます。ピュア・ストレージは、経営陣の監視・統制に加え、製品やシステムに対して定期的なペネトレーション・テストやインシデント管理の机上演習を実施しています。また、製品部門は脆弱性管理やセキュリティ対策に注力しています。



データ・セキュリティとプライバシー

- ピュア・ストレージは、データ・セキュリティとプライバシーに関するトレーニングを**全社員に対して 6 か月ごとに**実施しています。
- ピュア・ストレージは、当社初の **SOC 2 監査・認証**を完了しました。2022 年には、情報セキュリティ管理の国際規格である **ISO 27001 認証の取得**を予定しており、データ・プライバシーとセキュリティのプログラムをさらに強化します。
- ピュア・ストレージは 2021 年、**セキュリティ・ソフトウェアのトレーニングを提供する Secure Code Warrior 社**と提携し、ゲーミフィケーションを取り入れたエンジニア向けのトレーニング・プログラムを作成しました。ピュア・ストレージの製品やサービスのために、高品質で安全なコードの開発を目的としたものです。



レジリエントなサプライチェーン

ピュア・ストレージは、世界中の複数の拠点で行うオペレーションと製造のメリットを活かした、変化に強いサプライチェーンにより、長年にわたってサプライチェーン・オペレーションの最先端を走っています。ピュア・ストレージのサプライチェーンの強みは、独自の柔軟性、レジリエンス、対応力によって差別化が図られていることです。世界中のサプライヤーと協力し、労働者の倫理的待遇や環境に配慮しながら、物理的な課題を解決できるサプライチェーンを構築しています。

これに加え、2021年には、ピュア・ストレージのサプライチェーンはリサイクルと再利用の促進を目的として製品パッケージの見直しを行いました。この取り組みによって廃棄物の量が削減され、お客様だけでなく環境にもメリットがもたらされます。



「サプライチェーンにおいて、ESG は単なる流行語ではありません。ピュア・ストレージにとって、環境に配慮しながら効率化を推進することは極めて重要なことです。かなり早い段階から、対応力、多様性があり、製品ポートフォリオに即したサプライチェーンを、世界をまたぐ規模で設計・構築してきました。このことが、ピュア・ストレージの急成長および、需要の急増への対応を可能にしています。」

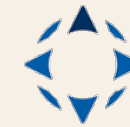
Pure Storage オペレーション部門 VP
マイク・フィッツジェラルド (Mike Fitzgerald)

サプライチェーンの取り組み

ピュア・ストレージは、倫理的なサプライチェーン構築の一環として、非製造分野の全サプライヤーを対象とした「**購買行動規範**」を2022年に公開する予定です。「**購買行動規範**」の内容は、製造サプライヤーに対する「**サプライヤー行動規範**」と類似のものになります。「**サプライヤー行動規範**」は、当社の「**マスター・サービス契約**」の一部に含まれており、[RBA（Responsible Business Alliance：責任ある企業同盟）](#)が提示する行動規範を遵守しています。

ピュア・ストレージは、紛争鉱物を使用していない製品をお客様に提供することをお約束します。ピュア・ストレージは、サプライチェーン内でデュー・デリジェンスを行い、コンゴ民主共和国や隣接国の紛争地域から産出された鉱物（錫、タンタル、タングステン、金）が製品に使用されないよう十分な注意を払っています。これまでに、ピュア・ストレージが提供している製品に紛争鉱物が含まれているとの指摘はありません。今後もサプライチェーンを監視し、当社のコミットメントの遂行と適用される法律の遵守に努めます。詳しくは、[Policy on Conflict Minerals](#)（紛争鉱物に関する方針）および [Statement Against Slavery and Human Trafficking](#)（奴隷と人身売買に関する声明）をご参照ください。

ピュア・ストレージの全ての受託製造業者は **RBA 行動規範を遵守しています**。さらに、主要なパートナーおよびサプライヤーは全て、1つまたは複数の ISO 認証を取得しており、ピュア・ストレージはそれらパートナーの ISO 認証を常に把握しています。また、ピュア・ストレージでは、ESG 活動の拡大に伴い、2022年およびそれ以降、サプライチェーンとサプライチェーン・パートナーに関するより正確な情報の収集に取り組む予定です。



Responsible Business Alliance

Advancing Sustainability Globally

RBA が定める行動規範の対象

- 労働基準
- 安全衛生基準
- 環境基準
- 倫理基準



OUR OPERATIONS

事業運営

2021 ESG REPORT



事業への信頼

ビジネス倫理

ピュア・ストレージは、倫理的な事業遂行に全社を挙げて誇りを持って取り組んでいます。取締役会からサプライチェーンに至るまで、倫理的な行動と意思決定を確保するための厳格な手順を徹底し、誠実、清廉、他者への敬意を伴った事業遂行を目指しています。

倫理的な事業遂行は、ピュア・ストレージのミッションと事業成功の中核をなすものであり、お客様、パートナー、そして私たちが奉仕するコミュニティとの関係を構築し維持するために欠かすことができません。行動規範とその他の規定は、公平で包括的な職場形成の基盤となっています。

ピュア・ストレージの最高法務責任者は、CEO 直属の役員として倫理的業務遂行を監督しています。最高法務責任者はさらに、取締役会および監査委員会に対し、ピュア・ストレージの倫理、誠実、およびコンプライアンスに関するプログラムについて、四半期ごとの報告を行っています。

コーポレート・ガバナンス

ピュア・ストレージの取締役会では、ガバナンスの健全性を重視しています。全ての基準とポリシーは、倫理的でインクルーシブな業務遂行と職場環境の実現に大きく寄与しています。取締役会は、会長兼 CEO であるチャールズ・ジャンカルロを含む 10 名の取締役で構成されています。取締役会は、会社の経営を監督し、株主のための慎重な受託者として行動しています。取締役会には 3 つの委員会があります。委員会は少なくとも四半期ごとに開催され、それぞれの担当分野の事案に関する最新の報告を受けて審議しています。

ピュア・ストレージのコーポレート・ガバナンス・ガイドラインは、取締役会の活動のガイドラインとして、取締役および経営陣が効率的に業務を遂行するための枠組みを規定しています。取締役会に対しては、さらに、ESG 活動に関する年次報告や Pure Good 基金 の成果に関する報告が行われています。

ピュア・ストレージのガバナンスの方針と活動に関して詳しくは、コーポレート・ガバナンスのページをご覧ください。

ピュア・ストレージの取締役会委員会

監査・リスク委員会

ピュア・ストレージの会計・財務報告プロセスの監督、企業リスクの監視および、環境の持続可能性推進活動の監督を行います。

報酬・人財委員会

執行役員および取締役に対する報酬の検討および決定、ならびに人的資本管理、DEI および、人財の獲得、育成、維持についての監督を行います。

役員推薦・コーポレートガバナンス委員会

コーポレート・ガバナンス活動についての助言、コーポレート・ガバナンス・ガイドラインの定期的な見直しと評価および、取締役候補者の選考と推薦を行います。



行動規範および関連する規定

行動規範は、誠実、清廉、他者への敬意という当社の重要な価値基準を定めています。倫理的な意思決定の文化を醸成するため、全社員および事業パートナーに対し、行動規範の遵守を求めています。行動規範は 10 か国語で提供されており、全社員、役員、取締役に適用されます。また、請負業者、パートナー、サービスプロバイダー、顧客、サプライヤー、およびベンダーに対しても、ピュア・ストレージの業務を行う際には同じ価値基準に従うことが求められます。

行動規範は、以下のような重要なテーマについて規定しています。

- 利益相反
- 反トラスト法および競争法
- 職場での行動
- インサイダー取引
- 適性記録と財務報告
- ピュア・ストレージの秘密資料および知的財産の保護



倫理的な行動と活動の推進

新入社員研修時および毎年 1 月に、全社員に以下の規則が周知され、遵守が求められます。

- 行動規範
- 贈収賄防止および腐敗防止に関する方針
- 職場におけるハラスメントの撤廃に関する方針
- インサイダー取引に関する方針
- 情報セキュリティに関する規定
- 輸出入に関する規定

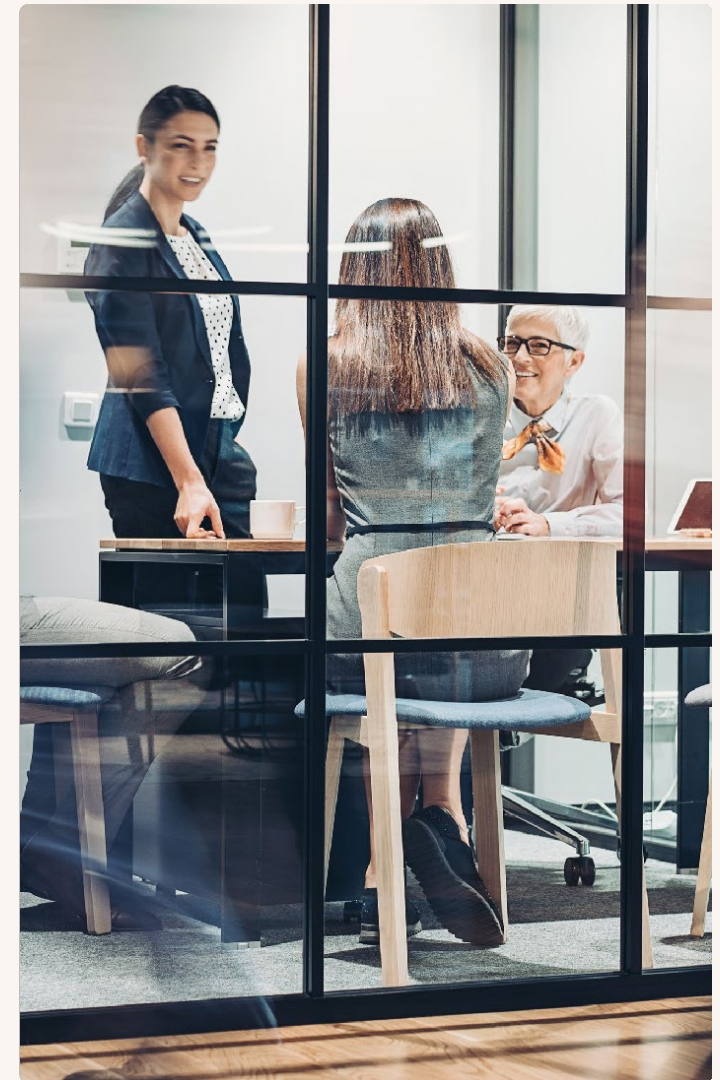
上記の行動規範と規定に加えて、ピュア・ストレージは「[奴隷と人身売買に関する声明](#)」と「[紛争鉱物に関する方針](#)」を表明しています。

ピュア・ストレージは、**倫理的な行動と業務遂行**に重点を置いており、全社員に対し、行動規範、差別・ハラスメント防止、プライバシーに関する研修を毎年受講することを義務づけています。さらに営業および財務チームに対しては、誠実な事業遂行および贈収賄・汚職防止に関する補足の研修を毎年受講するよう義務づけています。2020 年および 2021 年に、ピュア・ストレージでは贈収賄や汚職の発生は確認されていません。

ピュア・ストレージのパートナーは、同様の行動規範に従うことが求められています。この規範では、[RBA（責任ある企業同盟）の行動規範](#)の遵守をはじめ、チャネルおよびリセラー・パートナーの業務遂行上の義務とガイダンスが定められています。パートナー行動規範は多言語で提供されています。

ピュア・ストレージでは、さらに、製造サプライヤーに対し、RBA の枠組みを遵守することを求めています。グローバルなサプライチェーンを通じて社会的、環境的、倫理的な基準を向上させることがその狙いです。詳しくは[持続可能なサプライチェーン](#)の項をご覧ください。

2022 年には、非製造業の全てのサプライヤーに対して、購買行動規範を提示する予定です。





ピュア・ストレージの 内部通報制度

安全な職場の実現

ピュア・ストレージの社員は、行動規範の違反の疑いを含め、あらゆる懸念を表明する権限を与えられています。ピュア・ストレージは、不正の疑いに関する報告、苦情、内部告発を真摯に受けとめています。第三者を含む誰もが懸念を通報できるよう、[スピークアップ・ホットライン](#)（専用の電話番号と Web フォーム）を設置しています。この制度による通報は全て、法務、人事、および内部監査チームによって徹底的に調査検討されます。

内部通報制度および全ての苦情は、最高法務責任者と法務部門によって管理されています。

2021 年、ピュア・ストレージは「ピュア・コンプライアンス・クラブ」の第 1 回を開催しました。1 週間わたるイベントでは、倫理的な意思決定や最新の法的トピックに関する革新的なトレーニング・セッションをはじめ、専門家による企業コンプライアンスの成功例、失敗例の紹介が行われました。ピュア・コンプライアンス・クラブは、健全で倫理的な意思決定を行う文化を構築・維持する活動の一環として、毎年開催される予定です。

2020 年、ピュア・ストレージは職場倫理・コンプライアンスに関する社員の意識調査を開始しました。

2021 年の調査結果：

回答した社員約 2,300 名のうちの 95% が、ピュア・ストレージが「明確な倫理観に基づいて行動している」ことに同意または強く同意している。

96% の社員が、「経営陣が行動規範遵守の必要性について明確な目標を設定している」ことに同意または強く同意している。

93% の社員が、「ピュア・ストレージはパートナーやお客様を含む第三者との取引を通じて、ピュア・ストレージのコアバリューを実践している」ことに同意または強く同意している。

環境負荷

持続可能性への取り組み

ピュア・ストレージは、環境への影響を低減するさまざまな活動を行っています。製品のリサイクル、責任ある輸送による炭素排出量の削減、責任あるサプライヤーの選択などがその例です。さらに製品の稼働に使用されるエネルギーと水の削減に努めています。ここでは、エネルギー消費を低減する製品設計が重要な役割を担います。

ピュア・ストレージはまた、環境の持続可能性と効率性を通じて、より良い地球を未来世代に残すための努力を続けています。電気・電子機器（WEEE）指令、電池指令、RoHS 指令など、欧州連合の全ての廃棄物規制に適合しています。

ピュア・ストレージは、規制要件を超える成果を、あくまでステークホルダーに付加価値を提供するなかで達成することを目指しています。また、コンプライアンスだけでは地球の喫緊の課題を解決できないと考えています。

エネルギー、排出量、 気候変動への耐性

環境戦略の一環として、事業やサプライチェーンが環境に与える影響を定量化し、最小化することに取り組んでいます。この戦略ではさらに、気候変動による物理的なリスクに対するレジリエンスを高めることにも注力しています。

この戦略をサポートするため、ピュア・ストレージの社会的インパクト・持続可能性グローバル本部では、GHG 排出量、気候戦略、環境イニシアチブのモニタリングを行っています。社会的インパクト・持続可能性グローバル本部は、ピュア・ストレージが環境に与える影響をはじめとする ESG 関連のトピックについて、取締役会に毎年、取締役会委員会には四半期ごとに報告しています。

2020 年度のエネルギー・排出量

スコープ 1 の排出量	273 t CO ₂ e
スコープ 2 の排出量、場所ベース	16,102 t CO ₂ e
スコープ 2 の、市場ベース排出量	16,236 t CO ₂ e
スコープ 3 の排出量	236,170 t CO ₂ e
購入した物品とサービス	31,354 t CO ₂ e
資本財	3,468 t CO ₂ e
燃料・エネルギー関連の活動	1,973 t CO ₂ e
上流の輸送・流通	5,479 t CO ₂ e
商用旅行	14,908 t CO ₂ e
社員の通勤	10,047 t CO ₂ e
販売した製品の使用	168,844 t CO ₂ e
販売した製品の廃棄処理	97 t CO ₂ e
スコープ 1 および 2 の市場ベースの排出係数	4.9 t CO ₂ e（従業員 1 人あたり）
スコープ 3 の販売した製品の使用による排出係数	65 t CO ₂ e（出荷した有効容量 1 ペタバイトあたり）
エネルギー消費量	65,018 MWh
総グリッド電力消費量	63,689 MWh
非再生可能資源による総燃料消費量	1,329 MWh

* 全てのデータは WSP によって収集・検証されています。



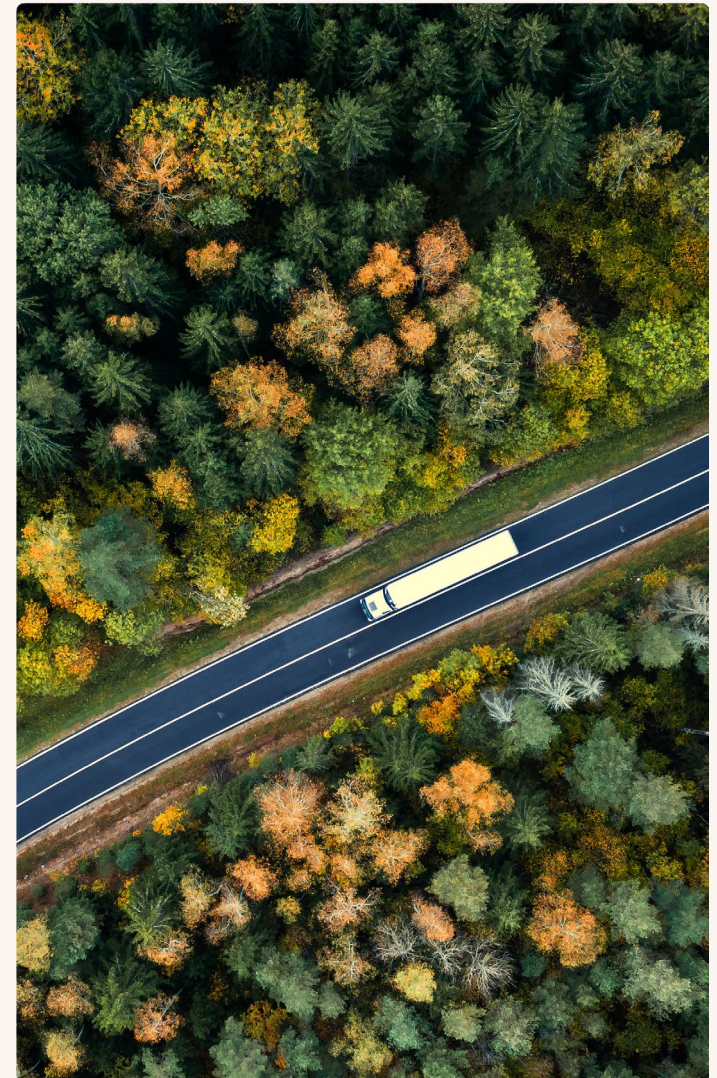
気候変動への対応力

お客様にシームレスなサービスを提供し続けるためには、事業、社員、サプライチェーン、そして地域社会が気候変動の影響に耐えられるような対策が必要です。ピュア・ストレージは、気候関連リスクの軽減に積極的に取り組んでいます。

気候関連リスクの管理は、企業リスク管理と事業継続計画プロセスの一部として組み込まれています。現在の気候変動への対応戦略の一環として、ピュア・ストレージでは、ハリケーンや洪水、異常気象などによる事業への物理的なリスクを評価し、これらの事象が発生しても事業を継続するための計画を用意しています。全ての製造委託先は事業継続計画（BCP）の作成が義務づけられており、四半期ごとにピュア・ストレージによる見直しが行われます。また、製造委託先の BCP には、気候に関連する物理的リスクの管理が含まれています。

ピュア・ストレージのオペレーション部門は、製造拠点の耐障害性を強化するため、複数拠点、複数大陸にまたがる戦略を策定しました。不測の事態によって一部の工場に影響が生じた場合に、製造サプライチェーンの他の部分に速やかに移行できる体制を整えています。自然災害や新型コロナウイルスの感染拡大などの要因で供給不足が発生した場合にも、迅速、機敏かつ柔軟なサプライチェーンによって、お客様への配送を確保できます。詳しくは、[持続可能なサプライチェーン](#)の項をご覧ください。

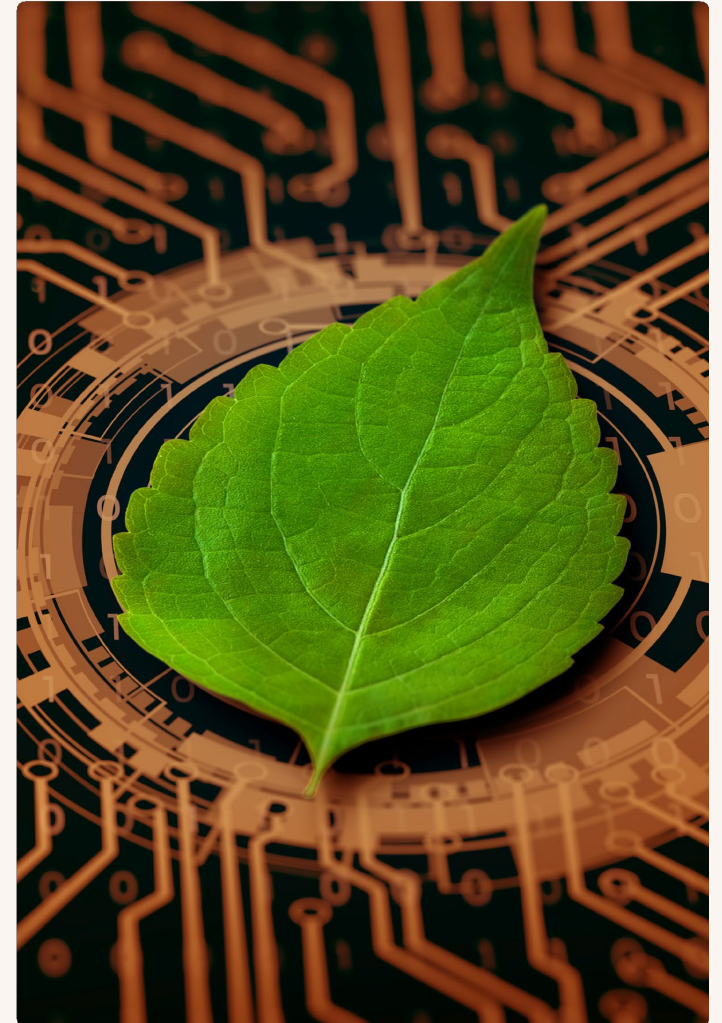
2022 年には、事業に対する気候関連の影響に焦点を当て、事業とサプライチェーン全体において、気候変動への対応力を強化する積極的な対策を示した包括的なレジリエンス計画を立案します。将来的には、気候関連財務情報開示タスクフォース（TCFD）の勧告に沿った気候情報開示を行う予定です。また、2022 年のCDP 気候変動質問書への回答では、気候変動プログラムと戦略の進捗状況を報告します。



持続可能なサプライチェーン

ピュア・ストレージにとってサプライチェーンの持続可能性とは、製品需要の充足を犠牲にすることなく、多様なサプライチェーン全体で環境基準と労働基準を維持する能力を意味します。私たちは、レジリエンスと倫理を備えたサプライチェーンを構築することにより、より優れた製品の構築、強い回復力を持つサプライチェーン・パートナーの醸成、コミュニティへの貢献が可能になると考えています。

ピュア・ストレージは、サプライチェーンの管理と監視を徹底しています。サプライチェーンの管理は、CEO 直属であるオペレーション部門 VP が統括しており、オペレーション部門は、持続可能なサプライチェーンの管理状況について、四半期ごとに取締役会に報告しています。オペレーションと財務の部門では、それぞれ専任の担当者が、企業のリスク管理と事業のレジリエンシーに関するプロセスを監督・実行しています。



本レポートについて

ピュア・ストレージでは、ステークホルダーの皆さまに当社の持続可能性に関する取り組みの推進状況や目標を理解していただくため、今回初となる ESG レポートを発行いたしました。なお、今後は年次でご報告する予定です。

私共は、ESG レポートを、ESG 活動の成果を評価して将来の改善に役立てるための重要なツールとして位置づけています。本 ESG レポートは、当社の事業に関わる各分野のエキスパートやリーダーとのインタビューおよびレビューを通じて作成されました。本レポートの作成に際しては、GR（Global Reporting Initiative）スタンダードおよび SASB（Sustainability Accounting Standards Board）のハードウェア業界向けスタンダードに沿った開示のベストプラクティスを採用し、ステークホルダーの期待に応えるよう努めました。本初回レポートは、2019 年 2 月 1 日から 2021 年 1 月 31 日（2020 年度から 2021 年度）の ESG データおよび、ESG に関する取り組みや活動を対象としたものです。本レポートは、ピュア・ストレージの会長兼 CEO であるチャールズ・ジャンカルロ（Charles Giancarlo）の責任において発表されています。ESG プログラムまたは本レポートに関するお問い合わせは、ESG プログラム担当部門までご連絡ください（メールアドレス：ESG@purestorage.com）。

ピュア・ストレージは、お客様の持続可能な事業目標達成を支援しています。

Pure 2021 ESG レポート（完全版）をダウンロード



ピュア・ストレージ・ジャパン株式会社

お問い合わせ：03-4563-7443（代表） | <https://www.purestorage.com/jp/contact.html>

©2022 Pure Storage, Inc. All rights reserved. Pure Storage, 「P」のロゴ、FlashArray、FlashBlade、Pure1、Evergreen は、Pure Storage, Inc. の登録商標です。その他記載の全ての名称は、それぞれの所有者に帰属します。PS2249-01 03/2022

マテリアリティ（重要課題）の評価

Pure Purpose ESG（ピュア・ストレージの存在意義としての ESG）戦略の一環として、2021 年初頭に、マテリアリティ（重要課題）の調査を実施し、ESG の各課題と影響について検討し、優先順位を決定しました。当社は、ステークホルダーの皆さまのために最良の結果を生み出すべく常に尽力してきました。ESG に関する評価を行うことで、影響の大きい領域を特定し、その領域に注力できるようになると考えています。

評価の過程では、サードパーティの ESG コンサルティング会社によって、ピュア・ストレージのトップリーダーや投資家、お客様、パートナーを含むさまざまな主要ステークホルダーからフィードバックを収集し、統合しました。得られたフィードバックをもとに、影響の大きい、優先すべき領域を特定しました。また、評価を通じて、ESG 項目の優先順位づけに加えて、ESG に関するリスクとチャンスについて重要な知見が得られました。その知見をもとに、ESG プログラムの将来のビジョンとロードマップに沿った事業活動を行うべく、管理手法を改善しています。評価の最後には、経営陣とともに、重要な ESG 項目についての検証を行いました。ピュア・ストレージの ESG プログラムおよびレポートは、以下の重要課題を基盤として構築されています。

- エネルギー、排出量、気候変動に対するレジリエンス
- データ・セキュリティとプライバシー
- ビジネス倫理
- 人財の獲得、維持、育成
- ダイバーシティ、エクイティ&インクルージョン